

【目次】

1. 友愛労働歴史館は2月7日（日）まで休館し、8日（月）に再開しました！
2. 福澤諭吉没後120年を記念し、特別展示「福澤諭吉とユニテリアン教会」を実施中！
3. 富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」が閉会へ、2月28日！
4. 新しい企画展「鬘（たてがみ）を持つ男・西尾末廣」は3月8日にスタート！
5. 社会大衆党機関紙「社会大衆新聞」の閲覧ができます！

1. 友愛労働歴史館は2月7日（日）まで休館し、8日（月）に再開しました！

友愛労働歴史館は新型コロナウイルスによる非常事態宣言を受け、昨年末から本年2月7日（日）まで臨時休館いたしました。2月8日（月）より再開いたしました。

現在、友愛労働歴史館は常設展「日本労働運動の100年余—友愛会・総同盟を中心とする—」（2013.03.18～）と、公益財団法人富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」を開催中です。また、展示室の一角にユニテリアン教会・惟一館ゆかりの人、福澤諭吉の没後120年を記念した特別展示コーナー「福澤諭吉とユニテリアン教会・惟一館」（2021.2.1～2.28）を設け、展示・解説中です。

2. 福澤諭吉没後120年を記念し、特別展示「福澤諭吉とユニテリアン教会」を実施中！

2021年2月3日は、慶応義塾の創設者で蘭学者、著述家、啓蒙思想家、教育者として知られる福澤諭吉（1835.1.10～1901.2.3）の没後120年。福澤は1835（天保5）年1月10日に中津藩士として生まれ、1901（明治34）年2月3日に死去。享年66歳。戒名は大観院独立自尊居士。

福澤諭吉は友愛会や労働運動と直接の関係はありません。しかし、福澤はアメリカからユニテリアンを招聘し、ユニテリアン教会を支援した人物。そして友愛会は1912（大正元）年8月1日、ユニテリアン教会でユニテリアン・鈴木文治により創立されています。友愛会は後に総同盟・同盟、現在の連合へと発展し、日本労働運動の源流とされています。

このため友愛会系労働運動の歴史資料館である当歴史館は、福澤諭吉を「ユニテリアン教会ゆかりの人」と位置付け、友愛会誕生のきっかけを作った人として顕彰しています。また、鈴木文治は福澤の「独立自尊」に大いに共感していた、と伝えられています。



この程福澤諭吉没後120年を記念し、当館は展示室に福澤諭吉コーナー（2021.2.1～2.28）を設け、彼の肖像画やレリーフ、扁額「独立自尊」や色紙、著書などを展示しています。

3. 富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」が閉会へ、2月28日！



友愛会館8階の友愛労働歴史館展示室において12月14日（月）、富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」（2020.12.14～2021.1.29）がオープンしました。「労働運動と教育運動」展は「第1部 前史・戦後労働者教育」、「第2部 生涯学習社会での教育運動」、そして「第3部 多様化する教育内容」の三部構成となっています。

今回の企画展は2019（令和元）年に創立50年を迎えた公益財団法人富士社会教育センターが企画・運営した特別展示会で、友愛労働歴史館は展示室を提供し協力を行っています。なお、友愛労働歴史館の開館日程に合わせ、企画展の会期は2月28日（日）まで延長されました。

富士社会教育センターは1969年、「歴史を創造する新しい政治理念と逞しい行動力が必要」とする民社党第二代委員長・西村栄一によって創立され、1971年に日本労働者教育協会（1951年創立）と合併。以来、河合栄治郎や森戸辰男らの教えを受け継ぎ、民主的労働運動の労働者教育、また生涯学習時代の社会人教育を担ってきました。

4. 新しい企画展「鬣（たてがみ）を持つ男・西尾末廣」は3月8日にスタート！



友愛労働歴史館は3月8日（月）から新しい企画展「鬣（たてがみ）を持つ男・西尾末廣—労働運動・政治運動に生きた生涯—」（2021.3.8～7.5）を開催いたします。

労働組合主義者・西尾末廣は戦前の友愛会・総同盟を代表する労働運動家で、主として大阪・関西で活躍し、「東の松岡駒吉、西の西尾末廣」と評されました。戦後は日本社会党の結党を主導し、片山哲連立内閣では官房長官を務めています。その後、容共化した社会党を飛び出し民社党を結党するなど、一貫して民主主義・反全体主義を貫いた百折不撓の人・西尾末廣は風雪の人（加藤日出男）、鬣（たてがみ）を持つ男（芳賀綏）と呼ばれました。

5. 社会大衆党機関紙「社会大衆新聞」の閲覧ができます！

友愛労働歴史館はこの程、社会大衆党機関紙「社会大衆新聞」復刻版（三人社）を購入し、閲覧できるようにいたしました。社会大衆党は1932（昭和7）年に社会民衆党（友愛会・総同盟）が支援し、大正15年に結党。委員長：安部磯雄・書記長：片山哲）などが合流してできた戦前期の無産政党で、戦後の日本社会党・民社党の前身とも言うべき政党。

友愛労働歴史館は先に社会民衆党機関紙「社会民衆新聞」を購入しており、今回の「社会大衆新聞」の購入で、社会民衆党から社会大衆党までの機関紙を閲覧できるようになりました。



現在、新型コロナ禍で大変な時期ですが、「社会民衆新聞」「社会大衆新聞」を含む当館所蔵資料は、当館書庫閲覧コーナー（写真）で自由に閲覧することができます。閲覧時間は原則、平日10：00～17：00。

閲覧希望者は事前にEメールかTELで連絡をください。なお、毀損防止のため資料・書籍の館外貸し出しやコピーサービスには対応していません。但し、希望者は資料・書籍を毀損しない方法、例えばスマホ・デジカメによる撮影を行うことができます。当館担当者にご相談ください。友愛労働歴史館への連絡は下記にEメールで。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL.050-3473-5325

Eメール yuairodorekishikan@rodokaikan.org

HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

唯一館から127年、友愛会から109年